

平成 28 年度事務事業評価表(公共事業・継続)

No. 466

事務事業名	公営住宅等整備事業	
-------	-----------	--

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	都市整備部		
課名	建築住宅課		
課長名	藤本 圭	内線	444
担当者名	内田 博康	内線	440

基本目標	050301	機能的で環境と調和したまち
政策		快適で暮らしやすい都市環境の整備
施策		住環境の整備
関連施策		

会計	一般会計	
款	8	土木費
項	7	住宅費
目	2	住宅建設費
事業コード	030106	

事業類型	7	施設等整備事業(負担金含む)
個別計画	大村市営住宅ストック総合活用計画、大村市営住宅長寿命化計画	
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	市営住宅及び住宅に困窮する低額所得者		
意図 対象をどのような状態にしたいか	耐用年限が経過し、老朽化が著しい住宅の建替事業を実施することにより、住環境の整備及び防災性能の向上を図る。さらに、高齢者や障害者の利便性に対応するとともに、居住水準の向上を図るものである。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	平成17年度から「大村市営住宅ストック総合活用計画(平成16年度策定)」に基づき、平成24年度からは「大村市営住宅長寿命化計画(平成23年度策定)」に基づき、老朽化した市営住宅の建替え事業を実施している。 平成30年度までの目標は、竹松アパートの建替えを行う。 H19～22 水主町アパート H23～26 本町アパート・黒木住宅 H28～30 竹松アパート		
事業期間	平成 17 年度	～	平成 33 年度
実施方法	直営		

成果指標名	建替率			算定式等	建替率(%)=(建替戸数/管理戸数)×100	
着手前現状値	平成 17 年度	単位	%			36
完了後計画値	平成 33 年度					51

【DO(実施)】

事業実施項目		25年度まで	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
基本計画	実績・計画額								
	項目別進捗率								
実施設計	実績・計画額	79,691		16,427		2,022			98,140
	項目別進捗率	81.20%	81.20%	97.94%	97.94%	100.00%	100.00%	100.00%	
用地・補償	実績・計画額	366,368	8,871			4,350			379,589
	項目別進捗率	96.52%	98.85%	98.85%	98.85%	100.00%	100.00%	100.00%	
建設工事	実績・計画額	2,149,194	509,369		169,387	194,683	59,619		3,082,252
	項目別進捗率	69.73%	86.25%	86.25%	91.75%	98.07%	100.00%	100.00%	
事務費等	実績・計画額	60,717	3,303	1,232	1,157	1,010	1,157		68,576
	項目別進捗率	88.54%	93.36%	95.15%	96.84%	98.31%	100.00%	100.00%	
合計	実績・計画額	2,655,970	521,543	17,659	170,544	202,065	60,776	0	3,628,557
	項目別進捗率	73.20%	87.57%	88.06%	92.76%	98.33%	100.00%	100.00%	

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	768,550	521,543	17,659	170,544	202,065	60,776	0	0
国庫支出金	362,130	244,182	7,392	76,224	71,620	26,828		
県支出金								
地方債	399,900	248,800	9,000	93,100	124,600	5,300		
その他								
一般財源	6,520	28,561	1,267	1,220	5,845	28,648		
② 人件費(千円)	10,918	15,429	14,135	15,726	事業内容	事業内容	事業内容	B/C
職員人数(人)	1.25	1.60	1.60	1.75	交付金事業 ・竹松 (28-30)	交付金事業 ・竹松 (28-30)		
時間外勤務(時間)	492	1669	1425	1500				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	779,468	536,972	31,794	186,270				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組を しましたか(昨年度の【ACTION】の 改善・改革の進捗等)	長寿命化計画に基づき、実施計画どおりに竹松アパート2号棟建設に係る設計を完了した。 今年度は竹松アパート2号棟建設を予定している。
事業が抱える問題・課題等	

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	公営住宅法に基づき、住宅に困窮する低額所得者層に対する住居の確保が行政の役割である。						
有効性	【緊急性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	今回の計画は、昭和29年～44年までに建設しすでに耐用年数を経過し老朽化した住宅の建替えであり、安全上緊急かつ計画的な対応が必要である。						
効率性	【施策成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	住環境の整備及び防災性能の向上を図るうえで効果は高い。 又、高齢者や障害者に対応した住宅を確保し、住生活の安定を図るうえで効果は高い。						
負担割合	【コスト】	削減の余地なし	削減の余地あり			該当なし	
	複雑な構造や意匠計画を避けコスト削減に努める。 又、各部分の仕様は出来る限り規格部品の採用や新技術等の採用によりコスト削減に努める。						
見直し	【負担割合】	見直しの余地なし	見直しの余地あり			該当なし	
	国の要綱等で交付金等の負担割合は定められている。						

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような 取組をするか(課題や問題点等に 対する取組など)	今後も大村市営住宅長寿命化計画に基づき、本事業を計画的に実施する。
効果 事業の改善・改革によって期待され る効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等	老朽化した市営住宅を計画的に建替えることにより、住環境と防災性能の向上を図ることは重要である。		内容		

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。